

**第2回 第2次石垣市観光基本計画素案検討会
議事要旨**

日 時	令和3年11月29日（月） 14時00分～16時30分
場 所	石垣市民会館中ホール
出席者	<p>越智 正樹 会長(琉球大学 国際地域創造学部 教授)</p> <p>高橋 秀明 委員(石垣市観光交流協会 副会長)</p> <p>山田 桂一郎 委員(JTIC. SWISS/観光カリスマ、内閣官房クールジャパン検討委員)</p> <p>大堀 健司 委員(石垣島アウトフITTERユニオン会長)</p> <p>鈴木 達也 委員(八重山ダイビング協会会長)※林様(代理出席)</p> <p>西村 亮一 委員(石垣島クリエイティブフラッグ代表理事)</p> <p>平良 佳子 委員(石垣市織物事業協同組合代表理事)※新城富士子様(代理出席)</p> <p>根原 工 委員(株式会社石垣島物産公社専務取締役)</p> <p>赤池 進 委員(JA ファーマーズマーケットやえやまゆらていく市場店長) ※仲程様(代理出席)</p> <p>伊良皆 誠 委員(音楽創造都市石垣推進協議会代表)</p> <p>黒島 剛 委員(映像工場代表取締役社長)</p> <p>岩倉 千花 委員(八重山ヒト大学副学長)</p> <p>金城 徹 委員(八重山ビジターズビューロー専務理事)</p> <p>通事 太一郎 委員(竹富町世界遺産推進室長)</p> <p>山本 以智人 委員(環境省石垣自然保護官事務所上席自然保護官)</p>
事務局	<p>玻座真、前盛、向井(観光文化課)</p> <p>高牧、井芹、宮城(ランドブレイン株式会社)</p>
欠席者	<p>新城 和彦 委員(八重山漁業協同組合 参事)</p> <p>西仲野 正巳 委員(石垣市観光交流協会 事務局長)</p>

<会次第>

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 関係資料説明

- i. 第2次石垣市観光基本計画素案検討会（第2回）配布資料
- ii. 次期計画構成案について

(2) 意見交換

4 その他

(1) 次回開催予定

5 閉会

<配布資料>

- ・資料0：第2次石垣市観光基本計画素案検討会（第2回）配布資料
- ・資料1：次期計画の方向性検討資料_個別比較
- ・資料2：次期計画の方向性検討資料_全体像比較
- ・資料3：次期計画の方向性検討資料_意見記入シート
- ・参考資料1：第1回 第2次石垣市観光基本計画素案検討会議事録

○議事内容

- ・第2次石垣市観光基本計画策定に係り、上記の次第に基づいて第2回 第2次石垣市観光基本計画素案検討会を行った。

【以下、発言要旨】

越智会長	<p>前回検討会では、焦点を絞らず委員のみなさまそれぞれの御立場からご意見をいただいた。それを事務局にてブラッシュアップしていただき、第2回素案検討会では計画の骨子についてご議論いただきたい。今回意見を受けて骨子をブラッシュアップし、第3回は計画の詳細箇所を含めた全体についてご議論いただく予定である。</p> <p>あえてこの場で会長としての役割を申しあげるが、検討会以外でも事務局と意見交換・協議を重ねて資料を作成しているの、専門家としての意見は事前に資料に反映させている。この場では司会、ファシリテーターとして進行して参りたいと思う。</p> <p>本計画は観光事業者のみに向けた計画ではなく、むしろ、市民全員に向けた計画にしたい思いで事務局とも方向性を同じく検討を進めている。市民のみなさまには、「観光振興により弊害が発生してしまい、申し訳ございません」だけではなく、「観光振興により良いまち、島にしていく」ことを基本的な考えとしている。この考え方に賛否両論あるかと思うが、積極的にご意見をいただきたい。</p>
事務局 (前盛)	<ul style="list-style-type: none">・配布資料の確認を行った。
事務局 (玻座真)	<ul style="list-style-type: none">・会次第に沿って、資料0から資料3の順で説明した。
～以下、資料説明に対する質疑応答～	
委員	<p>資料1の2頁に関して、木をモチーフに計画の概念図を示していることはすごくいいと思う。さらに、葉：事業で終わるのではなく、次につながる花や実、種が無く、事業止まりになっていることが気になった。⑤として、事業の先にあるものを表すことができると思う。例えば、「このような人材育成がいいな」、「新たな文化を創造する」などを表現できるといい。</p> <p>キャッチフレーズに関して、SNSでハッシュタグを作成したりすると市民の理解が深まると思う。島根県海士町では「ないものはない」をキャッチフレーズとしてPRしており、ブランディングに成功していると思う。島に無いものは別になくて問題なく、あるものは全て大事なものだということを表現している。子ども達も「ないものはない」Tシャツを着ていたり、お土産屋さんでも関連グッズが購入出来たりする。</p>
事務局 (玻座真)	<p>葉の次は花を咲かせたいとの意見はすごく賛成であるので、記載表現は検討させていただく。</p> <p>キャッチフレーズに関して、文章を長々と書くことは得意だが、石垣市を表すような短い言葉を考えることは苦手である。石垣のことを表す短い言葉はすごく大事だと思う。</p>
越智会長	<p>前回検討会にて〇〇委員が発言されていたが、KPIだけではなく、KGIを設定することは同じく重要だと思う。石垣だけではないが、理念は良いのだが、事業を実施してそれが理念達成にどのように寄与したのかが分かりづらかった。</p>
委員	<p>持続可能に関して、経済資源の活用は人間もそうである。石垣市民がより良い暮らしになることで、循環につながると思う。〇〇委員の意見にも同感である。</p> <p>理念は流行語大賞ではないが、市民や観光客全ての方がキャッチフレーズを知っている状況をつくりたい。</p>
越智会長	<p>キャッチフレーズは委員の皆様からご意見をいただきながら、事務局はキャッチフレーズに活用できそうな意見を記録していただきたい。</p>
委員	<p>映像制作業をしており、NHKはじめ各民放とも仕事をしている。3年前にはバラエティー番組などが来ており、八重山を発信していた。西表島が世界自然遺産に登録されたこともあり、自然風景を撮りに来る方が増えていると感じる。そこで新しい魅力を発信することもできるのではないかと思う。</p> <p>伝統文化についてだが、八重山伝統文化を活用した観光誘客をテーマとして活動している。沖縄本島では空手や琉球舞踊などを観る場所があるが石垣にはないので、整備が必要である。</p> <p>また、街路樹などを全てハイビスカスにして、石垣のイメージを上げたい。</p>

事務局 (玻座真)	<p>〇〇委員の発言は次回提示予定の施策に関して意見をいただいた。</p> <p>また、すでにある資源を観光資源として活用することができていないのではと思う。資源をマーケティングなどにより活用できるように次回提示予定の施策に盛り込む。</p>
越智会長	<p>〇〇委員からは人材を育成してスキルをさらに充実させるなどの意見があった。それに関連する基本目標の2つ目「伝統的な文化や生活様式、産業の質の向上に資する観光振興」と基本方針が上手く対応できていないのではと思う。今の石垣が伝統文化を礎に造り上げられていることは間違いないが、文化は生み出されているものも含まれる。例えば、映像や音楽などのクリエイティブな文化もある。観光学では観光により生み出される新たな文化を「観光文化」という。バリ島のガムランは観光客に披露するものが文化になった観光文化である。石垣でも伝統文化と観光文化が融合して新たな文化となる。インスタ映えなど、胡散臭いと感じるものはまだ文化になっていないから違和感がある。</p> <p>石垣市民の中で伝統文化と観光文化が融合され、シビックプライドにつながり、産業の質の向上に寄与するのであればつながりがいいと思う。伝統文化と新しい文化が観光により肯定される観光振興が進められるべきだと〇〇委員と〇〇委員の発言をいただいて考えていた。</p>
委員	<p>基本目標の「稼ぎを市外に逃がさない、地域への恩恵を最大化する観光振興」に関して、市民や事業者が観光振興による恩恵を受けている実感ができていないのでは。観光発展の恩恵が観光産業従事者にも還元されて給与が上がるなど待遇改善につながらないとより良い人材を確保することも難しい。きちんと地元に戻元できるようにしたい。市民全体に観光振興による恩恵を感じてもらえるように進めていきたい。</p>
事務局 (玻座真)	<p>KGI に関して経済的に潤うことを設定したい。例えば、所得を増加させるために観光客をどの程度誘客する必要があるなど逆算して検討する必要がある。</p> <p>本計画で観光入域客数を増加させることが最終目標ではなく、観光消費額を増加させて地域の暮らしを良くすることである。</p>
越智会長	<p>計画に明記することは重要だが、市だけで可能な取り組みもあれば難しいこともあるので記載内容は調整が必要である。</p> <p>高付加価値化、客単価の向上について、観光事業者の労働環境が向上することと比例するわけではないので内容を盛り込む必要がある。市民全体の計画だが、基本方針「観光関連商材の高付加価値化による単価の向上」に観光産業従事者に絞った労働環境向上に関する記載をした方がいい。</p>
委員	<p>理念をころころ変えることは良いとは思わない。時代に合わせた表現にするためのマイナーチェンジは考えられるが、現行計画の理念には「自然と人の魅力」という大切な理念が含まれており、変更しないでもいいのではないかと思います。</p> <p>理念などとは別にキャッチフレーズを設定してはどうか。視点、将来像、基本目標を検討した後に、それを一言であらわす言葉を探す方がいいのではないかと。</p> <p>現行計画の視点「恵まれた自然は地域発展の源泉として自然を守ること」はすごく重要である。石垣の文化、経済、観光のベースには自然があり、「源泉」は重要な文言である。次期計画の視点にも同様の考え方を含めていただきたい。次期計画視点「多面的な持続可能性(経済・社会・環境・その他)」に環境を含めているが、石垣での環境の重要性は別次元ではないかと思うので、自然環境保全は別に記載するのが良いと思う。</p> <p>基本目標に関して、「環境負荷の少ない観光の振興」も重要な考え方である。観光ツアーに海岸清掃を盛り込むなど保全型の観光や低負荷型の観光を推進し、入域観光客が増加するほど環境が良くなるような仕組みづくりができると良い。</p>
事務局 (玻座真)	<p>自然が観光の源泉である考え方は現行計画から変わらない。自然に関する記載表現は検討する。環境負荷の少ない観光振興に関しては、施策にて検討を深めたい。</p> <p>自然・環境に関しては、上位計画である総合計画の記載表現を確認して検討する。</p>
越智会長	<p>阿蘇ではツアーの最中に5分間だけゴミ清掃をするなど取り組みを進めている自治体もある。石垣市が課題解決的な事業を推進するのであれば、取り組みをしている事業者を支援することなどが考えられる。</p>

	<p>資料1の5頁の「②信頼、安心、親切にあふれた市民の創出(平和と平等、相互理解の深化)」に関連して、地域の子も達に他者理解、他者への思いやり、優しさなどを醸成する取り組みは良いが、おもてなし精神を押し付け、観光客よりも下の立場であると認識されてしまうような取り組みや教育は良くない。レスポンシブルツーリズムを推進するために、子どもたちに観光リテラシーについて学ぶことが観光立県につながるのではないかと。まず、良い観光客になることが必要なのではないかと。</p> <p>現行計画の理念は外から見た美しさと内から見た美しさが対比されていることが良い。外から見た美しさはわかりやすいので、観光教育などの内からの美しさを強調し、キャッチフレーズにできないか。心に映える美しさを表現できれば良い。</p>
委員	<p>大阪の修学旅行生とビーチクリーンをしたことがあり、新聞に取り上げられたことがあった。修学旅行の最終日にお土産店で買い物をしていた際に、市民の方から感謝の言葉をかけていただき、とても修学旅行生は喜んでいて、そのことが望ましいあり方なのだと思います。観光教育を受け入れる土壌はすでにあると思うので、取り組みを進めていきたい。</p> <p>地域教育に関して、学校の先生方はほとんど島外から来るので地元のことを知らない方も多し。学校と地元の方が協力して地域自然資源を学ぶ時間を増やすことで観光地力の底上げにつながるのではないかと。</p>
事務局 (玻座真)	<p>我々が商品として成り立たせる以前に市民の中にベースとしてあるものだと思う。こちらの考え方を押し付けるのではなく、自然と溢れてくる感謝の気持ちなどが目指すものである。意図的に取り組むものではないが、自然発生的に起きることを待っているのは主体的な観光地経営とは思わない。</p>
越智会長	<p>自然と感謝ができることに非常に感銘を受けた。今回のエピソードでは、海岸清掃の記事が新聞に掲載され、それを市民の方が見ていたことで感謝が伝わったが、毎回新聞に掲載されるわけではないのでなかなか伝わらないと思う。このエピソードには望ましい観光客の誘導に関する施策を検討する上でのヒントがあると思う。わかりやすい例では、地域に貢献する取り組みをした観光客に割引チケットを渡すことがあるが、金銭的に還元されるわけではなく、ポジティブサンクショナルに観光客に付与できれば良いと思う。</p>
委員	<p>資料を読みながら浮かんだのが、「伝統文化現在進行中」である。現在進行形で、文化が進化、創出されており、そのことが観光産業にも盛り込まれていけば良いと思う。</p> <p>また、先ほどのエピソードで新聞を読んだ方が感謝の言葉を伝えること自体が人材育成である。例えば、織物で学校制服を製作し、年下に譲る際には染め直す。民謡でも古典を出来る方がしっかりと案内するなど。地元の方の仕事と伝統文化が繋がっていると良いと思う。</p> <p>先程、〇〇委員から発言があったが、街路樹をハイビスカスにして摘んでもいいようにできないか。市役所では雨の日に伝統文化を楽しめるものがあれば良い。</p>
事務局 (玻座真)	<p>人間の欲求には認められたい欲求がある。石垣で安全・安心に観光することは当たり前で、石垣では自分の叶えたい夢が叶えられる場所になればいい。ビーチクリーンも中高生の修学旅行生であれば、事前にツアーに組み込まれていることもあるが様々な方が来島する。石垣に延泊する理由を考えないといけない。石垣はそういう考えと親和性が高い場所だと思う。</p>
越智会長	<p>「伝統文化現在進行中」はすごく良いキャッチフレーズだと思う。</p>
委員	<p>望ましい観光客に訴求し、望ましくない観光客に訴求しないとはどのような趣旨なのか。</p>
事務局 (玻座真)	<p>市長と接する中でも同様の発言がある。レスポンシブルツーリズムにも通じるが、石垣島に来てほしくない観光客は確かにいることは事実である。石垣市民や伝統文化に敬意を払う方に対しては歓迎するメッセージを出していきたい。基本方針に記載している「望ましい、望ましくない観光客」という文言表記が適正なのか不適切なのかは議論の余地がある。ターゲティングの尺度としては、迷惑行為を行う方にはご遠慮いただいていることを示したい。ハワイでは、アロハの文化、精神を伝えるためのビ</p>

	<p>デオなどを活用して、地域の立ち入り禁止の場所を教えたりしている。石垣に来たからにはこれまでの歴史や文化に敬意を払っていただくように示していきたい。</p>
委員	<p>ダイビング業は観光業のど真ん中に位置する産業であると認識している。観光事業者として質問するが、今後石垣市の方向性として入域観光客数に関してはどのように考えているのか。また、資料を拝見した感想として、きれいでかっこいいことが記載されているが、現実と記載されている方向性にはかなりギャップがあると思う。</p>
事務局 (玻座真)	<p>入域観光客数に関してこの会議にて議論はしていない。目標値として設定の有無やその設定値に関する詳細な議論は次回以降になるかと思う。どちらが良いということでもなく、オーバーツーリズムが課題になっているが通年的に発生しているわけではない。</p> <p>本計画にて、観光振興をすることは市民の地域生活に大きな影響を与えるのでみんなで考えて取り組む必要があると示したい。施策に関しては基本目標など達成するためのものを今後検討していく。</p>
委員	<p>大崎海域でのポンツーン設置や名蔵にはゴルフ場建設の話があるが、資料に記載されている内容とは真逆の印象を受ける。今後はどんどん入域観光客数を増やして観光振興を進めるのか、そうではないのかご回答いただきたい。</p>
越智会長	<p>〇〇委員の発言で量と質は同じ天秤で図るものではないとあったが、前回までの本会議では質を優先すべきだと共有されている。今後 10 年間で質の高い観光を進める中で、入域観光客数が減ろうとも質を優先することが委員の中で共有されている考え方である。今後 10 年間の計画でポンツーンやゴルフ場などの個別の事業や計画を批判したり、推進することをしない方が良いと考える。現行計画にはゴルフ場に関して明記されていたが、もっと大枠での記載が望ましい。</p> <p>先程、〇〇委員からも発言いただいたが、市の計画で「望ましい、望ましくない」と露骨に記載している事例はほとんどないだろう。ホテル業界では UG(undesirable guest)として望ましくないゲストを設定しているが、これはかなり悪質なお客様でありブラックリストに載るような方である。望ましくない観光客という考え方は観光業界ではもともとある考え方であり、本計画は市民に向けた計画なので、大胆な表現ではあるが市の考え方姿勢を伝えるために必要ではないかと思う。「望ましい観光客に訴求する」のワードは残してもいいと思う。</p>
委員	<p>コロナ禍において伝統工芸館の入り口には「お互いの健康を守るためにワクチン接種者のみ入場可能」という趣旨の張り紙をしており、未接種の方から「未実施なので帰る」と申し出ただけの方もいる。その際には、必ず「ありがとうございました。状況が整った際にはまた来てくださいね。にいふあいゆー。」と伝えている。小学校4年生が郷土学習の一環で訪れることがあり、10 年後たくさんの良い思い出をもった子どもたちが成長することを想像すると市の事業とは関係なく郷土愛が醸成される。小学生の頃に接した子どもたちが高校生になって授業などで戻ってくる事があり、その後おもてなしができる大人に育っている。島の豊かさが繋がっていると実感する。</p> <p>新宿御苑にて「自然の先にある島の手仕事」に関するイベントを実施した。島の生活の中に当たり前にあるものなので興味を持たれないと思っていたが、様々な方が訪れてくれ島の宝についての話を聞いてくれた。その話を聞いてくれた方に、方言で「にいふあいゆー。」と伝えるとさらに石垣に興味を持ってくれた。</p> <p>接している小学生などの子どもたちが育っていくと、素晴らしいことになると思う。私は「にいふあいゆー。」という言葉が好きで、悔しいことを言われても「気づかせてくれて、にいふあいゆー。」と伝えるようにしている。</p> <p>今朝、青森から電話があり会話の最後に「いつもの言葉をいってほしい。言ってもらえると今日一日いい事があるかもしれない。」と言われた。その時に石垣の言葉は人を元気にする言葉でもあるのだと思った。今朝のような小さな行いを重ねていくことが大事なのだと思う。</p>
事務局 (玻座真)	<p>〇〇委員の話の中で、交流人口だった方が関係人口に変わったのだと思う。石垣とのつながりが別の角度でコミットすることにつながる。我々が目指す方向性に向かうための行動を東京でも実践されてきた。大変参考になりました。</p>

委員	キャッチフレーズが「にいふあいゆー。」に決まりそうな気がしますね。石垣の観光を面でとらえると八重山全体の話になる。竹富町と与那国町の子どもたちは中学を卒業したら島に高校がないので、島外に出ていく。今回、コロナで島内を回る機会が増えたことが逆作用的に島のことを良く知る良い機会になったのではないかと思う。石垣島の子どもたちも何らかの形で竹富町と与那国町の八重山全体を知るきっかけを設けるべきである。八重山には大学が無いので、島外に出たときに八重山の魅力を発信できるようにしたい。玻座真課長からも関係人口創出に関する発言があったが、地道な取り組みとして実施したい。何年後に花咲くのかわからないが、自然と八重山のPRができれば魅力発信になる。
越智会長	YVBの立場からご発言ありがとうございます。シビックプライドや責任ある観光も石垣だけの話ではなく、八重山全域に関わることである。石垣市の観光計画にどの範囲まで責任をもって記載するのは難しいところもあるが、今後検討を深めたい。竹富町の観光計画は来年度策定予定なので、先々の整合を含めて記載していきたい。
委員	望ましい観光客、望ましくない観光客については具体的なイメージに関してかなり気になっていた。業者間ではよく客単価をあげるにはどうしたらいいのかを意見交換している。基本目標の2、3、4つ目はすぐ関係してくるので、具体的かつわかりやすい表現にしていきたい。望ましい観光客、望ましくない観光客の記載表現は検討の余地があるが、宿泊業も常日頃考えていることだと思うので、考え方として入れた方がいいと思う。
事務局 (玻座真)	基本方針の1つ目に関するご意見か。
委員	そうである。
越智会長	事務局からお知らせなどあるか。
事務局 (井芹)	今回提示した骨子案に対して、そもそも抜け落ちていた視点などについて、資料3にご記入いただきたい。計画策定時、計画運用時に必要となる。
事務局 (玻座真)	現行計画にも6つの視点が設定されており、次期計画でも設定したいと思う。視点の記載がないと計画策定時にどのような視点の元で策定したのかわからない。
委員	自然環境の魅力もそうだが、人の魅力が八重山の魅力なので、基本目標や基本方針に考え方を含めていただきたい。
事務局 (玻座真)	資料3にぜひご記入いただきたい。
委員	承知した。
委員	視点に「安全・安心によるブランディング」とあるが、大切な考え方だと思う。コロナ禍にて旅行形態がかなり変わった。JTBが実施した、「どのような観光地に行きたいか」という内容のアンケートを拝見したところ、安全・安心を求める意見が大多数だった。次に受け入れ地が快く受け入れてくれるのかという意見だった。安全・安心と聞くと感染症のみに限定されるように感じるが、障がい者や高齢者などに対応するためのバリアフリー化が必要かと思う。これからの観光関連施設はユニバーサルデザインによる整備が求められている。 また、基本方針「利益の最大化に向けた産業連関の強化」について、観光は観光産業だけでは成り立たないので、市民を含めた地域での広域連携が必須である。YVBはDMOなので、地域一体になった活性化を推進していきたい。
委員	参加されている委員の方の地域に対する熱い想いを感じた。望ましい観光客はいろいろと定義があると思うが、石垣の価値を共有できて尊重できる方が当てはまると思う。共有できる本質的な価値を委員の皆様にご議論されてはどうか。他の委員会などでもよく問いかけるが、「なぜ石垣に人が暮らせているのか」「なぜ石垣で生業が成り立っているのか」といった質問から石垣の無くてはならない本質的な価値を見直し、明確化することができると思った。地域に対するアイデンティティや品位を身に着けることで、自ずと明確化されることもある。お時間がある際に、マーケティングに関する知見や経験を踏まえたお話をさせていただきたい。

【実施風景】

